

シンポジウム 百間樋門の再生から見えてきたもの ～ 文化財としての水俣病関連遺構(跡)を地域の力に～



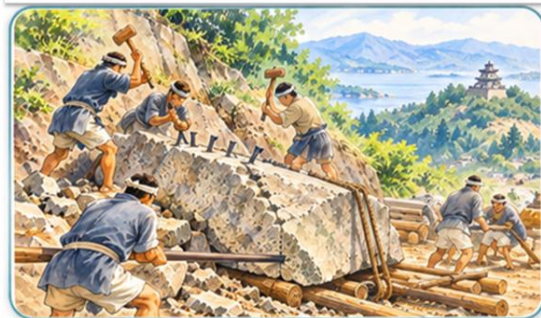
現在の百間排水口樋門 (糸長浩司撮影)



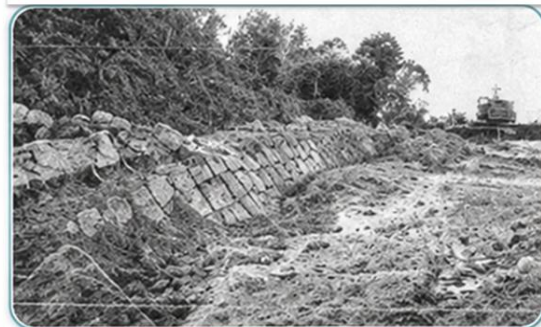
1969年頃の百間排水口 (野崎正寛さん撮影 水俣病資料館提供)



建設中の入浜式塩田の樋門 (絵: 糸長浩司 + チャットGPT)



石切り場での作業風景 (絵: 糸長浩司 + チャットGPT)



水俣城の石垣 (水俣市教育委員会「水俣城跡」より)



水俣城東側の石垣のノミ跡 (東福寺横) (山下善寛撮影)

2026年11月28日 (土) 13:00～16:00
水俣市公民館ホール 参加無料

オンライン参加のお申し込み (11月20日締切)
右のQRコードからお申し込みください。
※ 会場参加の方は、事前申し込み不要です。



パネリスト

加藤タケ子 (きぼう・未来・水俣)
山下善寛 (元チッソ労働者)
糸長浩司 (元日本大学教授)

野澤淳史 (東京経済大学准教授)
矢野治世美 (熊本学園大学准教授)